土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	砂防工事全体計画書作成業務
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.3-西ノ谷川支川-補助基準点3	調査位置	広島県安芸郡海田町	北緯	34° 21′ 04.9933″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年 9月 8日～ 令和2年 9月 9日	東経	132° 33′ 36.2884″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 221.10m	角度	180°（上）90°、0°（下）0°	方向	北 0°、90°（東）、180°（南）、270°（西）
総削孔長	9.00m	地盤勾配	42°（水平 0°）、鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D0 / エンジン：ヤンマーNS100 / ポンプ：東邦BC-3C

標尺（m）	標高（m）	深度（m）	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事
	220.70	0.40		粘土混じり砂		暗褐			木根を含む 細～中砂の砂を主体とする
1				粘土質砂		褐	rd1		中～粗砂の砂を主体とする 粗砂状の小礫を混入する
2							rd2		細粒土分を20～30%含有する
3	217.30	3.80							部分的に径3cm以下の礫を多く混入する
4	216.60	4.50		粘土混じり砂		暗褐灰	rd3		中～粗砂の砂を主体とする 径1～2cmの風化する礫を混入する
5				花崗岩		赤褐			DL級岩盤 風化が著しく進行し撹乱すると土砂化する
6									造岩鉱物は風化変色している
7	213.65	7.45							径1cm程度の岩芯が残存するが指圧で崩れる
8	212.80	8.30		花崗岩		灰褐			DM級岩盤 風化が進行し撹乱すると土砂化する 部分的に径1～2cmの岩芯が残存する
9	212.10	9.00		花崗岩		淡灰白			CM級岩盤 L=5～20cmの短柱状～柱状コアで採取 亀裂面は茶褐色に変色し土砂～細礫を挟む
10									
11									
12									
13									
14									

孔内水位／測定月日：9/9 6.70

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度（m）	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
2	1.15	1 / 200	1		2 / 300		
	1.45						
6	2.15	2	2	2	6 / 300		
	2.45						
6	3.15	2	2	2	6 / 300		
	3.45						
13	4.15	3	4	6	13 / 300		
	4.45						
28	5.15	6	11	11	28 / 300		
	5.45						
34	6.15	12	12	10	34 / 300		
	6.45						
43	7.15	11	14	18	43 / 300		
	7.45						
50以上	8.15	26	24 / 30		50 / 130	130	
	8.28						

試料採取 深度（m）	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
2.15～2.45	3-1	⊖	含水量 粒度	
5.15～5.45	3-2	⊖	含水量 粒度	9/8
				9/9